

コード	101020106
記入日	H23.5.18

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島 紀昌
担当者	青山 一信

# 事務事業事後評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	「海フェスタながさき」開催実行委員会負担金
----------	-----------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 22 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	101	施策名称	魅せる観光のしまづくり	項コード	1
基本事業コード	10102	基本事業名称	新たな観光資源の開発とネットワーク化の推進	目コード	3
事務事業コード	1010201	事務事業名称	観光振興事業費	細目コード	140
関連計画	法令・条例規則等		海フェスタながさき実行委員会規約		

<b>計画 (PLAN)</b>							
※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を****とする。							
対象：誰、何を対象にしているのか			対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 一般住民及び観光客			(対象指標1) 地域住民 5,000人、観光客 5,000人				
(対象2)			(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)		(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
<p>・平成22年7月17日～8月1日の期間、長崎市・五島市・新上五島町で「海フェスタながさき」を開催する。</p> <p>・各種イベント</p> <p>→長崎市…秋篠宮同妃両陛下がご出席される記念式典、記念祝賀会の開催</p> <p>→新上五島町…「帆船まつり」「海援隊コンサート」「海の音楽会」「都会子・島の子交流事業」「夏の海を満喫するマリンスポーツの充実などを実施。</p>		<p>①海フェスタながさき実行委員会を設立</p> <p>②平成22年度実施に向けての業務</p> <p>→海フェスタながさきホームページ作成</p> <p>→告知看板制作</p> <p>→標語・シボ・マーク・PRポスターの公募</p> <p>→ポスター等デザイン制作</p> <p>③海にちなんだイベントの実施</p> <p>→帆船まつり</p> <p>→海の音楽会</p> <p>など多彩なイベントを実施</p>	****	****	****	開催実施事業数+開催予定事業数	****
			①	開催実施事業数	20事業	100%	平成22年度
			(達成率分析)	計画通りの事業数を実施できた。			
			②				
			(達成率分析)				
目的：何をしたいのか			成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
			(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
<p>・本町には、日本の海水浴場百選に選ばれた蛤浜海水浴場や高井旅海水浴場等、美しい海辺がたくさん存在する。そんな美しい海を存分に味わえる夏の時期は、上五島観光に最適といえるが、離島という地理的条件やそれに伴う交通費の割高感もあり、県外はおろか県内でも本町を訪れたことのない方がいるのが現状である。</p> <p>このような中、海に親しむ環境づくりを進めることを基本とし、国土交通省所管であり全国規模で開催される『海フェスタながさき』を長崎市、五島市と共同で開催することは県内や県外のお客様に対し長崎の美しい海を楽しんでもらうための最適な手段であり、また本町で開催予定の「帆船まつり」「海援隊コンサート」などの各種イベントを通して、島外への情報発信、観光振興、誘客活動など本町観光ビジョンの重点施策の推進及び交流人口の拡大につながるものである。</p>			****	****	****	集客数+集客目標数	****
			①	集客数	41,000人	410%	平成22年度
			(達成率分析)	予想をはるかに上回る集客数を得ることができた。			
			②				
			(達成率分析)				

<b>実施 (DO)</b>							
※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。							
	単位	全体計画 H 21 ~ H 22		21年度以前	22年度		
		計画	実績	実績	計画	実績	
活動指標	① 事業	20	20		20	20	
	②						
成果指標	① 人	10,000	41,000		10,000	41,000	
	②						
総事業費 C (A+B)	千円	36,074	36,413	1,600	34,474	34,813	
直接事業費 A	千円	20,674	19,613	200	20,474	19,413	
人件費 B	千円	15,400	16,800	1,400	14,000	15,400	
内訳	従事職員数	人	2.2	2.4	0.2	2.0	2.2
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円					
	県補助金	千円					
	起債	千円					
	その他	千円	10,237	9,706		10,237	9,706
	一般財源	千円	25,837	26,707	1,600	24,237	25,107

**評価 (CHECK)**

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	夏のシーズンに実施されたこの事業は、交流人口の拡大を図る上五島にとっての格好の機会であり、観光客の誘客及び幅広い情報発信につながった。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	海フェスタのイベントが本町をはじめ長崎市、五島市で広域的に開催されたことは、観光振興、情報発信及び交流人口の拡大に繋げ、地域経済の活性化を図る上で多大な効果があった。
	・事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由	海フェスタの開催地として最適であり、個別の事業の内容も海をテーマに構成されており、適切であった。
有効性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由	実行委員会を組織し、関係機関や各種団体からの協力を得て、円滑な事業の実施を図ることができた。また、島外への情報発信や交流人口の拡大につなげることができ目的は達成した。
	・成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	PR活動等には、長崎市・五島市ともに協力して取組み、また組織的に取組むことにより大きな成果の向上につながった。
	・事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	本事業により期待される効果は、夏の観光客誘致を図るための最大の手段であったため、事業を中止した場合には、観光客は減少し、観光振興及び地域の活性化は見込めなかった。
	・類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	国土交通省が所管する全国でただ1カ所だけで毎年開催される特殊な事業であることから、整理統合はできない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	本町の観光振興、誘客活動の拡大を図るため、さらには長崎市、五島市との連携事業でもあったことから事業費の削減はできない。
	・人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	町を挙げてのイベントであり、本課の人員だけでは到底実現できなかった。よって、人件費を削減することはできなかった。
	・受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由	受益者負担は発生しない。

**改善 (ACTION)**

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点	誘客活動、情報発信のPR活動はもちろんのこと、本町で開催される各種イベントの成功に向けて関係機関と連携を図りながら、事業展開にあたる。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策	特になし。
2次評価	観光振興事業の全てに言えることだが、どれだけ観光客の誘客を図れて町内投資がなされたのかが真の効果であるから、今後も本町の観光ビジョンの推進及び交流人口の拡大に向けて取り組むこと。	

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。